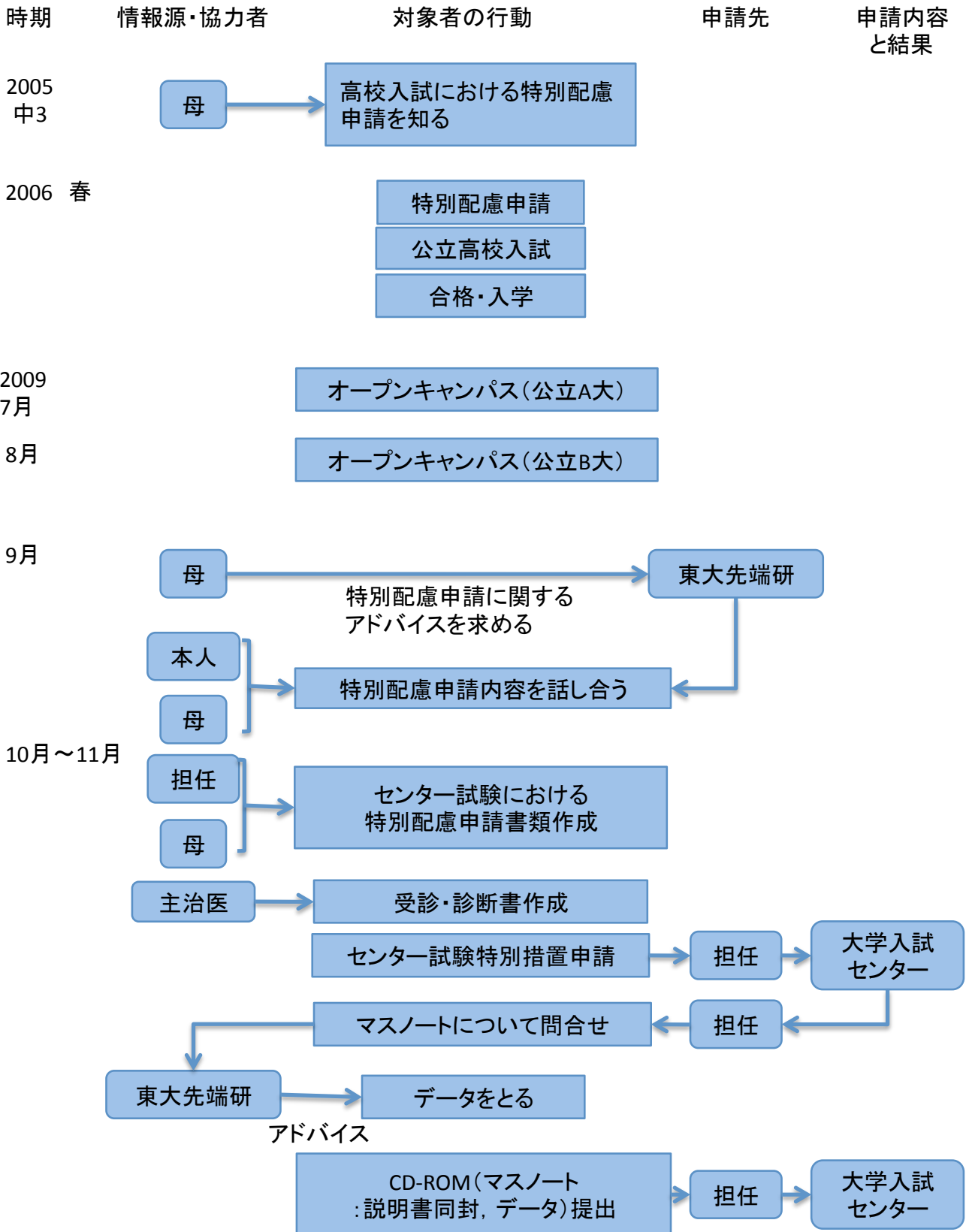
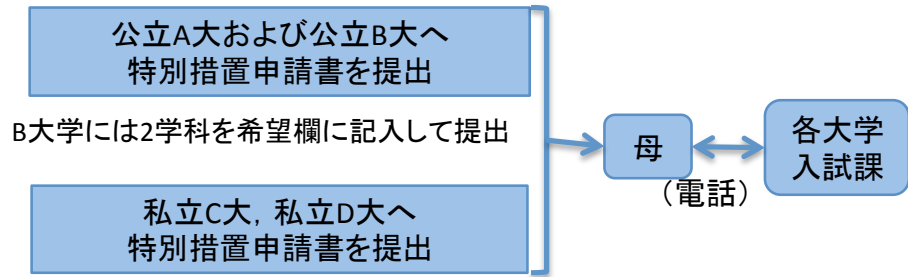


事例4:脳性麻痺による肢体不自由(四肢). 不随意運動を伴う. 筆記および動作全般に困難があり, 電動車椅子を使用. 言語障害.



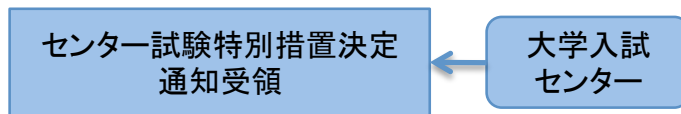
時期 情報源・協力者 対象者の行動 申請先 申請内容と結果

11月



センターから返答がないため、
数学を手書きで解答する練習

12月



- ・代筆回答(別室)による時間延長(1.3倍, 数学のみ1.5倍)
→全て1.3倍で○
- ・付添者の試験室前迄の同行→○
- ・トイレに近い試験室で受験→○
- ・1階又はEV利用可能な試験室→○
- ・特製機の試験場側での準備→○
- ・電動車いすの持参使用→○
- ・車での入構→○

[その他]

- ・代筆者によるマーク→○
- ・数学のみ個人のノートPC(キーガード付)およびプリンタの使用許可→○
- ・数学は数式ワープロ(マスノート)を計算用紙代わりに使用→○
- ・数学は2倍に拡大したチェック式解答用紙の用意→×
- ・問題冊子のホチキス留め→○
- ・リスニングにおいてCD使用→○
- ・リスニングにおいてCDプレイヤーのスピーカー使用→○

公立A大, 公立B大へ
措置決定通知書 提出

- ・二次試験等では, 数学以外は一太郎ソフト, 数学はマスノートで解答したい旨伝える

私立C大より措置決定通知受領

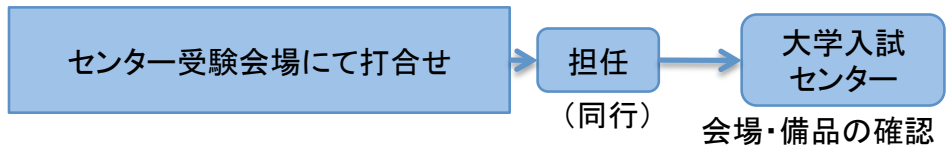
- ・センターと同様
- ・PC持ち込みO.K.
- ・ただし, 選択問題の解答のみに使用O.K..
- ・記述問題は拡大解答用紙へ手書き

私立D大より措置決定通知受領

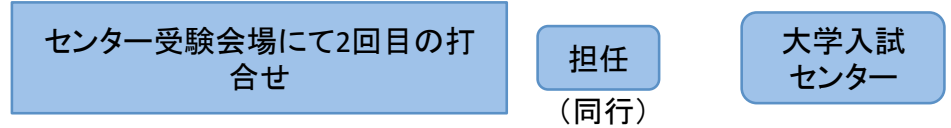
- ・センターと同様
- ・PC持ち込み & 解答O.K.

時期 情報源・協力者 対象者の行動 申請先 申請内容と結果

12月



2010年
1月



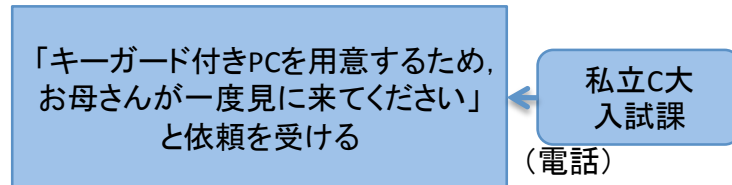
代筆者(センターが用意)との
顔合わせ

センター試験

試験実施中の介助者とのやり取り
は、全てテープ録音



「前期の第一志望学科はどちら(A大orB大)にするか？」



2月



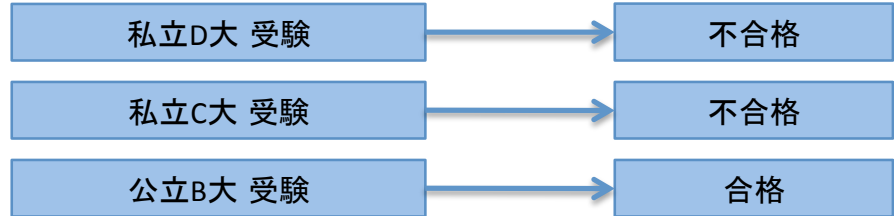
「前日、PCを大学へ置き、
中身を大学がチェック」する
ことを確認



- ・センターと同様
- ・数学の時間延長1.5倍→○
- ・PC、プリンタ持ち込み→○
- ・英語の解答書式ファイルのUSBメモリ等を大学が用意→○

時期	情報源・協力者	対象者の行動	申請先	申請内容と結果
----	---------	--------	-----	---------

2月



4月

